

大賀ハスの花弁調査（16枚）



苞状萼片

花托 (かたく)

雄蕊 (おしべ)

## 大賀ハスの花の特性について

	花ハスの必須形質	特性		花ハスの必須形質	特性
1	葉の大きさ	30～49cm	18	花弁先端の形	丸
2	葉の凹み	中間(浅い、深いの)	19	花弁のねじれ	無
3	葉縁の波	中間(無し、多いの)	20	完全花弁数	15～24枚
4	葉柄長	100～149cm			14～20枚(※1)
5	葉柄のとげ	中間(少い、多いの)	21	不完全花弁数	無
6	葉面のざらつき	無し	22	雄蕊(ずい)の数	200～299本
7	蕾(つぼみ)の形	細長型			262.5本(※2)
8	蕾の色	赤緑	23	雄蕊の形	正常
9	花頭数(開花数)	1個(花茎1本あたり)	24	花托(かたく)上面の色	黄で緑縁取り
10	花の大きさ	15～24cm	25	花托上面の形	円
		24～28cm(※1)	26	花托の形	倒長円形
11	花茎長	100～149cm	27	子房の突起	無
12	花弁の地色(じいろ)	白	28	種子の形	楕円
13	花弁のアントシアンの有無	有	29	子房の突出	なし
14	花弁アントシアンの濃淡	中	30	萌芽の早晩	早い
15	花弁アントシアンの分布	全面	31	開花の早晩	早い
16	花弁の条線の程度	不明瞭	32	腐敗病の抵抗性	低い
17	花弁の形	中間(狭型、広型の)	33	虫害の抵抗性	普通

(注1) 上表は「花蓮百彩」(2010年、日本花蓮協会)を参照

(注2) 上表のうち、※1は「魅惑の花蓮」(1990年、渡辺達三)、※2は「花はず栽培」(2002年、榎本輝彦)を参照